

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成 28 年度 事業報告書

公 1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。賛助会員及び関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・発行回数：年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）
- ・発行部数：各号 4,500 部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第 75 号	H28. 6. 20	(特集) 京町家まちづくりファン感謝祭 「あなたが支える京町家」 他
第 76 号	H28. 9. 20	(特集) 「地域の個性が輝く景観まちづくりを目指して ～京都市地域景観まちづくりネットワークの取組～」 他
第 77 号	H28. 12. 20	(特集) ものづくり企業が活用する京町家 「株式会社ツー・ナイン・ジャパン社屋 智慧夢工房」 他
第 78 号	H29. 3. 20	(特集) 防災まちづくりの取組紹介 「路地のある風景、路地がつくる文化を残したい。」 他

イ 財団ホームページ等

平成 28 年 3 月に新規開設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。また、情報発信力を高めるため、新たに財団公式フェイスブックページを開設し、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団独自ホームページアクセス件数 68,483 件（平成 28 年 3 月後半から運用開始）
- ・ひと・まち交流館内・センター（施設）ホームページアクセス件数 233,125 件（平成 27 年度末実績 304,771 件）
- ・メールマガジンの配信 39 回（平成 27 年度末実績 54 回）
- ・メールマガジン購読者数 1,688 人（平成 27 年度末実績 1,612 人）
- ・公式フェイスブックページ投稿数 61 件（平成 28 年 8 月から運用開始）

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

(7) 冊子等の販売

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ わたしの家物語 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ 京のまちづくり史 | (株式会社昭和堂) |
| ⑤ 大学的京都ガイド | (株式会社昭和堂) |
| ⑥ 京都・岡崎年代史 | (京都岡崎魅力づくり推進協議会) |
| ⑦ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy) |
| ⑧ 町家型共同住宅設計ガイドブック | (京都市) |

(4) 京町家キット等の販売

- | | |
|---------------|------------------------|
| 京町家等の組み立て式キット | (株式会社さんけい) |
| 京町家ポストカード | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

(2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が当該地域を理解し、自らの役割として自覚し、行動する取組を推進するために、地域リーダー及び新たな担い手を養成するための講座を実施するとともに、活動のきっかけとなる機会を提供した。

平成28年度は、まちづくりの担い手育成により重点を置き、まちづくりや京町家の保全等、実践を重視したカリキュラムの充実、行政区プロジェクト等で、明確化した対象者への呼びかけ等により効果的な講座を実施した。

また、主に京町家の所有者及び居住者を対象に、京町家の維持、管理等に関する基本的な課題の解決を図るため、基礎知識を提供することで、京町家の所有者及び居住者の保全・再生に向けた実践を促した。

なお、広く市民を対象に、まちづくりの歴史や京町家の「暮らし」「空間」「まちづくり」の文化を体感するセミナー等に関しては、自主財源増加の取組として、一部有料で実施した。

ア 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

開催日	講座名	講師(話し手)	出席者
H28. 4. 21	大工さんに教わる～町家がよるこぶ！改修方法	宮田裕一氏(京都府建築工業協同組合)	25
H28. 5. 12	設計士さんに教わる～町家をべっぴんさんによみがえらせる技	栗山裕子氏(認定NPO法人古材文化の会副会長)	41
H28. 9. 15	京の路地と京町家 歴史と安全を引き継ぐために	森重幸子氏(武庫川女子大学講師)	31

H28. 11. 10	京町家の専門家集団に学ぶ！ 京町家を守り、生かすための不動産知識の最前線	林茂氏（京町家居住支援者会議会長） 吉田 光一 氏（京町家居住支援者会議 事務局長）	24
H28. 12. 19	京町家を長く素敵に維持するためのメンテナンス	浜谷 富美子 氏 （京町家居住者、すまいの雑貨店「sumao」オーナー） 荒木 智 氏（株式会社アラキ工務店常務取締役）	25
H29. 2. 19	庭師さんに聞く！京町家の庭の成り立ちとつき合い方～春夏秋冬	木村孝雄氏（一般社団法人京町家作事組、京都府伝統産業優秀技術者-京の名工）	26
合 計			172

イ 京町家再生セミナー関連企画（有料） 全2回 1,000円/回

町家の所有者、居住者のみならず、京町家の概論や現場見学を通じ、広く市民に京町家の基礎を知っていただき、町家ファン、町家支援者の増加を目指した。

開催日	講座名	講 師（話し手）	出席者
H28. 5. 28	京町家をゆく 伏見街道編～町家キャンパス3年間の歩み	松井 薫氏（龍谷大学深草町家キャンパス設計者、住まいの工房）【龍谷大学深草町家キャンパス】	18
H28. 8. 27	京町家をゆく 上京編～京町家と年中行事、夏から秋の移ろいの中で・・・	水野 歌夕氏（写真家・水野克比古フォトスペース「町家写真館」館長）、【宮岡邸】	25
合 計			43

ウ 島原地区オープンハウス

開催日	イベント名	実施会場（オープンハウス）：講師	参加者
H29. 3. 4	クリエイティブタウン島原の魅力再発見！ 【協賛】京果 京都青果合同株式会社 【後援】京都市観光協会	ギャラリーたんどん：栗山裕子氏（改修設計者）	約 100
		西澤邸：西澤孝子氏（オーナー）	約 100
		ギャラリーのざわ：野澤好子氏（店主）	約 90
		itonowa：村田敬太郎氏（オーナー）	約 70
合 計			約 360

エ 京のまちづくり史連続講座（有料） 全9回 500円/回

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えた。

開催日	講座名	講 師	出席者 (通年+単回)
H28. 4. 26	京都の都市計画とまちづくり：古代から中世	高橋康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授）	32 (20+12)
H28. 6. 10	近世都市・京都の形成と変容：禁裏と町	岸泰子氏（京都府立大学准教授）	35 (20+15)
H28. 7. 8	近代京都の基盤整備：近代化への受容と抵抗	中川理氏（京都工芸繊維大学大学院教授）	31 (19+12)

H28. 9. 2	近代都市をめざして： 風景の発見と景観の創造	中嶋節子氏（京都大学大学院教授）	37 (17+20)
H28. 10. 21	近代の自治と学区： 学区制度の成立と終焉	和崎光太郎氏（京都市学校歴史博物館学芸員）	29 (15+14)
H28. 12. 14	新たな都市空間の誕生： 市街地の拡大と郊外の景観形成	石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学大学院教授）	22 (10+12)
H28. 12. 21	区画整理による住宅地と新型町 家の形成過程	大場修氏（京都府立大学大学院教授）	25 (13+12)
H29. 2. 3	自治組織の変遷とまちづくり活 動の多様化	乾亨氏（立命館大学教授）	30 (12+18)
H29. 3. 3	現代の景観と土地利用（町並み とコミュニティ）	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	40 (15+25)
合 計			281

オ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

(7) 相続 寺小家塾 【共催】一般社団法人 相続相談センター、京町家等継承ネット

京町家・空き家にまつわる相続や税等の制度を学ぶ講座を開催し、京町家・空き家の継承を円滑に行っていただくための相続や税に関する必要な知識を身に付けていただいた。

開催日	講座名	講 師	出席者
H28. 7. 23	空き家の利活用について	岡本秀巳氏 （(一社)全国空き家相談士協会副会長）	31
H28. 9. 10	住まいとしての町家継承	松井薫氏（京町家情報センター代表）	34
H28. 10. 1	京町家・空き家の相続と今年の 税制改正	大江孝明氏（税理士法人京都経営税理士）	38
H28. 10. 22	京町家継承に家族信託	三方正行氏（司法書士法人みかた司法書士）	31
H28. 11. 19	公正証書遺言書のすすめ	遠藤太嘉男氏（元京都公証人弁護士）	23
H28. 12. 17	争続を想続へ	米澤一喜氏（弁護士）	21
H29. 1. 21	市民後見制度の利用と方法	内藤健三郎氏 （NPO法人ユニバーサル・ケア代表理事）	17
合 計			195

(イ) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

なお、一部の講座修了者については、当財団のまちづくり専門家として派遣し実践の場を提供することで、専門家の育成を図った。

・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H28. 7. 9	基礎理論 (1)	堀繁氏（東京大学大学院教授）	33
2	H28. 8. 20	基礎理論 (2)	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	32
3	H28. 9. 10	京都のまちの形成と景観史	中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	26
4	H28. 10. 15	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（京都大学大学院特定准教授）、佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授）	30
5	H28. 11. 12	京の生活文化	谷晃氏（野村美術館館長）、矢ヶ崎善太郎（京都工芸繊維大学大学院准教授）、笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	31
4-2	H28. 11. 19	土木と景観デザイン	篠原修氏（東京大学名誉教授、GS デザイン会議代表）	18
6	H28. 12. 17	建築とランドスケープ 京都のまちの形成史	江川直樹氏（関西大学教授）、高橋康夫氏（花園大学教授、京都大学名誉教授）	27
7	H29. 1. 21	景観政策と法律	飯田昭氏（弁護士）、石田光廣氏（司法書士）	24
8	H29. 2. 18	景観まちづくり・修了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	46

・実践講座（全7回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H28. 6. 20	オリエンテーリング	—	7
2	H28. 7. 9	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	8
3	H28. 8. 8	色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	7
4	H28. 9. 12	対話型ファシリテーター講座	中田豊一氏（ソムニード、参加型開発研究所）	7
	H28. 9. 25	フォローアップ講座		6
5	H28. 10. 24	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（大阪芸術大学）	8
6	H28. 11. 21	発表・グループ提案	—	8
7	H29. 2. 20	実践レポート発表・修了式	—	6

(ウ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催した。

平成28年度は、第8期育成講座（平成28年1月～7月、受講者34名、修了者19名、補講修了者10名）及び第4期上級講座（平成27年12月～平成28年8月、受講者8名、合格者3名、条件付き合格者3名）を実施し、第5期上級講座（平成28年9月～、受講者

4名)を開始した。

なお、講座修了者のうち古材文化の会から推薦のあった者について、京町家専門相談員として登録し実践の場を提供することで、専門家の育成を図った。

・育成講座（第8期）

回	開催日	内 容	講 師
平成 27 年度開催			
1	H28. 1. 16	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（NPO 法人古材文化の会、関西大学名誉教授） 寺田敏紀（(公財)京都市景観・まちづくりセンター）
2	H28. 1. 30	民家建築	中川等（大阪産業大学）
		文化財保護法	武内正和（文化庁）
		京都の文化財	石川祐一（京都市）
3	H28. 2. 13	寺社建築	菅澤茂（工学院大学）
		歴史的建造物の継承と暮らし	杉本歌子氏（(公財)奈良屋記念杉本家保存会）
		見学	秦家住宅、杉本家住宅
4	H28. 2. 27	住宅建築	日向進氏（NPO 法人古材文化の会）
		歴史的建造物の技法（瓦葺）	寺本光男（瓦葺職）
		歴史的建造物の技法（左官）	浅原雄三（左官職）
5	H28. 3. 12	演習 1 指定文化財修理の現場見学 ／仁和寺観音堂	吉田理（京都府）
6	H28. 3. 26	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵（弁護士）
		保存・活用のマネジメント	宗田好史（京都府立大学）
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介（建築家）
平成 28 年度開催			
7	H28. 4. 9	庭園の様式	仲隆裕（京都造形芸術大学）
		近代洋風建築	石田潤一郎（京都工芸繊維大学）
		歴史的建造物の調査と評価	中川等（大阪産業大学）
8	H28. 4. 23	演習 2 登録文化財調査	石川祐一（京都市）、中川等（大阪産業大学）、 中村則正・中井玲子・永松尚・城市智幸（建築家）
9	H28. 5. 7	歴史的建造物と耐震補強	井上年和（建築研究協会）
		歴史的建造物の再生設計/構造設計	奥田辰雄（構造設計家）
		保存・活用と再生設計/意匠設計	木下龍一（建築家）
		演習 2 の中間報告 修了課題の中間報告	—
10	H28. 5. 21	歴史的環境の整備	山崎正史（立命館大学）
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田教子（建築家）
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介（建築家）
		・演習 2 の講評 ・演習 3 の説明 ・修了課題の中間報告	—
11	H28. 6. 4	演習 3 保存・活用相談	古材文化の会の建築家と構造設計家
12	H28. 6. 18	建築基準法・景観法	（京都市）
		指物の技法	大谷普賢（伝統工芸士）

		演習3の講評 修了課題の中間報告	—
13	H28. 7. 2	歴史的建造物と防災対策	益田兼房 (国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会)
		歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子 (税理士)
		講座修了課題中間発表会	—
14	H28. 7. 23	修了課題発表会	—

・上級講座 (第4期・実践)

回	開催日	内 容	講 師
平成27年度開催			
1	H27. 12. 13	実践課題の進め方	中川等氏 (大阪産業大学) 古賀芳智氏 (建築家) 白石秀知氏 (NPO法人古材文化の会)
		歴史的建造物の調査方法と報告書のまとめ方	
		課題テーマの意見交換	
2	H28. 1. 30	調査対象の相談	評価・判定コース 中川等氏 (大阪産業大学) 保存・活用コース 古賀芳智氏 (建築家) 白石秀知氏 (NPO法人古材文化の会)
3	H28. 2. 27	調査対象の決定・発表	各コース担当者
4	H28. 3. 26	課題中間報告	各コース担当者
平成28年度開催			
5	H28. 4. 9	課題中間報告	各コース担当者
6	H28. 4. 23	評価・判定コース 育成講座演習2の現地指導に参加	各演習担当者
7	H28. 5. 7	課題中間報告	各コース担当者
8	H28. 5. 21	課題中間報告	各コース担当者
9	H28. 6. 4	保存・活用コース 育成講座演習3の現地指導に参加	各演習担当者
10	H28. 6. 18	課題中間報告	各コース担当者
11	H28. 7. 2	課題中間報告	各コース担当者
12	H28. 7. 16	報告書と発表会用レジメの提出及び概略説明	各コース担当者
13	H28. 8. 6	報告書と発表会用レジメの仮返却	各コース担当者
14	H28. 8. 17	報告書と発表会用レジメの本提出	
15	H28. 8. 20	発表会及び修了式	上級講座審査員ほか

・上級講座 (第5期・基礎)

回	開催日	内 容	講 師
1	H28. 9. 24	[講義] 復原的考察の意味と手法	中川等氏
		[演習] 建造物の復原的考察(櫻谷文庫)	
2	H28. 10. 1	[講義] 年輪年代法	光谷拓実氏 吉村栄二氏
		[見学] 銘木と材料同定	

3	H28. 10. 16	[講義] 文化財・景観の価値	日向進氏
		[意見交換] 文化財・景観の価値	
4	H28. 10. 22	[講義] ゆかりの価値	永松尚氏
		[意見交換] ゆかりの価値	
5	H28. 11. 5	[講義] 西舞鶴のまちづくり	大滝雄介氏
		[見学と意見交換] 西舞鶴のまちなみ	
6	H28. 11. 12	[講義] 歴史的建造物と税金	辻本尚子氏 京都市などの担当者
		[講義] 歴史的建造物と補助金	
7	H28. 11. 26	[講義] 古文書の基礎知識と取り扱い	秋元せき氏
		[演習] 古文書の解説と取り扱い	
8	H28. 12. 4	[講義] 行政資料の基礎知識と取り扱い	渡邊佳子氏 平塚泉氏
		[講義] 法務局資料の内容と請求	

・上級講座（第5期・実践）

回	開催日	内 容	講 師
1	H28. 12. 11	実践課題の進め方	評価・判定コース 保存・活用コース 中川等氏（大阪産業大学） 古賀芳智氏（建築家） 白石秀知氏 （NPO 法人古材文化の会）
		歴史的建造物の調査方法と報告書のまとめ方	
		課題テーマの意見交換	
2	H29. 1. 28	調査対象の相談	—
3	H29. 2. 25	調査対象の決定・発表	各コース担当者
4	H29. 3. 25	課題中間報告	各コース担当者
以下、平成29年度に開催予定			
5	H29. 4. 8	課題中間報告	各コース担当者
6	H29. 4. 22	評価・判定コース 育成講座演習2の現地指導に参加	各演習担当者
7	H29. 5. 6	課題中間報告	各コース担当者
8	H29. 5. 20	課題中間報告	各コース担当者
9	H29. 6. 3	保存・活用コース 育成講座演習3の現地指導に参加	各演習担当者
10	H29. 6. 17	課題中間報告	各コース担当者
11	H29. 7. 1	課題中間報告	各コース担当者
12	H29. 7. 15	報告書と発表会用レジメの提出及び概略説明	各コース担当者
13	H29. 8. 5	報告書と発表会用レジメの仮返却	各コース担当者
14	H29. 8. 16	報告書と発表会用レジメの本提出	—
15	H29. 8. 19	発表会及び修了式	上級講座審査員ほか

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援

平成 28 年度は、密集市街地や細街路、空き家対策等、土地利用に関わる地域課題について具体的な解決を図ることに重点を置いた。加えて、新規地区における地区計画等の地域ルールづくりに関する相談を複数受けるなど、一定の新規対応実績もあげた。また、まちづくり専門家や事業者等による連携事業をコーディネートし、袋路再生へ向けた具体的な整備へ向けた専門家派遣を行った。

ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

・相談・支援件数 383 件（平成 28 年 3 月末実績 434 件）

相談項目	28 年度件数	27 年度件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	359	392
マンション問題	5	8
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	4	10
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	107	133
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	16	7
まちづくりコーディネート事業	325	361
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	62	52
合計（※項目ごとの件数の累計）	383	434

イ まちづくり活動助成

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、運営活動費（学習会や活動広報物の作成等）について 3 年間で限度に助成する。

平成 28 年度は、新しく活動を始める地域での活用を積極的に働き掛けるとともに、新たに活動を始める際に有効に活用してもらえるように助成率を 9 割に引き上げると同時に、上限金額を 10 万円に引き下げた。年度途中の改変のため、1 件（仁和寺門前）にとどまった。次年度での制度活用に向け、各地域への周知に努めた。

ウ まちづくり専門家派遣

地域課題に応じて、登録専門家や若手専門家を地域に派遣して、活動への助言、地域の将来ビジョンづくり、ビジョンを踏まえたルールづくり、主として都市計画手法を活用した課題解決（地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定、防災まちづくり、空き家活用等）等の支援を行う。

都市計画的な課題が多様化する中、ビジョンやルールづくりのほか、土地利用に係る具体的な解決を図るため、横断的な支援が重要となる。平成 28 年度は、当財団のネットワークを生かし、京都市との連携のもとに、総合的な支援の充実を進めた。

エ 景観づくり支援（京都市受託事業）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、協議会制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等、制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を行った。

(ア) 京都市地域景観まちづくりネットワークの活動支援

京都市の景観政策課とともにオブザーバーとして参加し、地域景観づくり協議会認定地区等の課題共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

(イ) 地域景観づくり協議会認定前や認定後の地域の活動支援、専門家派遣、活動助成

地域景観づくり協議会認定前の地域の活動支援や、認定後の地域の活動支援（主に協議会運営に係る支援）について、各地域のニーズ調査を行うとともに、現状にあった支援検討（専門家派遣等）を行った。

【景観づくり、その他ルールづくり等の活動支援を行っている地域の状況】

地区	状況	支援内容（支援年度）
北区 柘野学区	地域景観づくり協議会、その他ルールづくりに向け取組中他	柘野まちづくりビジョン作成（平成 24 年度） 平成 24 年度作成のまちづくりビジョン（10 カ年計画）の中間見直しを行い、後期事業の推進検討支援を行った。
上京区 小川通・上御霊前通界限 【新規】		小川通・上御霊前通界限まちづくりの会の活動支援（平成 28 年度～） ・地区内の 5 階建てマンションの建築計画への反対運動を契機に、京都市の「歴史的景観の保全に関する取組方針」を踏まえ、本地区境界の歴史的環境を保全するためのルール等の策定に向け、活動を行っている。 ・地区計画や地域景観づくり協議会等の制度活用を視野に、専門家を派遣し、会の組織運営、地区住民等の合意形成、周知啓発、勉強会の企画・運営等の支援を行った。 「エ 景観づくり支援」
左京区 松ヶ崎学区		安心・安全マップづくり等地域活動への支援 昨年度実施した、防災を中心とした安心・安全マップづくりに引き続き、子供向けのマップ作成事業として継続するための学生活動について、助言支援を行った。
東山区 弥栄学区 元吉町		元吉町まちづくり部運営支援（平成 26 年度～） ・近年地域が抱える景観、コミュニティ等に関する課題解決へ向け、初動期の地域活動に対する助言及び指導を行っており、「 地域景観づくり協議会 」認定に向けた支援を行った。 ・平成 29 年 3 月に「 祇園新橋景観づくり協議会 」が設立された。 「ウ まちづくり専門家派遣」、「エ 景観づくり支援」
下京区 新釜座町		新釜座町町内会の活動支援（平成 28 年度～） ・町内会設置の防犯灯の改善について、地域住民、行政、メーカー等との協議等の支援を行った。
南区 久世工業団地		久世工業団地協同組合の運営・建築協定策定支援（平成 27 年度～） ・平成 27 年度から、工業団地の操業環境の保全に向けて、課題整理を行い、地区計画や建築協定等のルール策定について助言を行っていた。 ・平成 28 年度は、久世工業団地地区の建築協定策定及び関係者間の合意形成を進めるため支援を行い、平成 29 年 2 月に建築協定が認可された。 「ウ まちづくり専門家派遣」

右京区 嵯峨学区 嵐山本町地区		嵐山まちづくり協議会の活動支援（平成 28 年度～） ・28 年度から、専門家を派遣し、平成 29 年度内の組織認定を目指し、「地域景観づくり協議会」認定に向けた支援を行った。 「ウ まちづくり専門家派遣」、「エ 景観づくり支援」
西京区 洛西 ニュータウン		景観協定等地域ルールづくりへ向けた活動支援（平成 28 年度～） ・住まいワーキング内での景観規制に関する会運営、ルールづくりへ向けた助言を行った。 「ウ まちづくり専門家派遣」
伏見区 新町三丁目		新町三丁目まちづくり検討委員会議運営支援（平成 26 年度～） ・地区計画等のルール策定に向けて、地域住民の意向確認の進め方について助言及び支援等を行った。 「ウ まちづくり専門家派遣」
東山区 清水学区 一念坂・二寧坂 (古都に燃える会) 【新規】	協議会 その他ル ール等 策定済	古都に燃える会の事業者対応検討会への助言等（平成 28 年度～） ・地域景観づくり協議会制度に基づき個別の事業者と地域組織が行う意見交換について、専門家を派遣し助言を行った。 ・その他、地域で設置するサインの検討のため、専門家を派遣する予定で協議を進めた。 「ウ まちづくり専門家派遣」、「エ 景観づくり支援」
下京区 修徳学区		修徳景観づくり相談会への助言（平成 26 年度～） ・地域景観づくり協議会制度に基づき個別の事業者と地域組織が行う意見交換について、専門家を派遣し助言を行った。 「ウ まちづくり専門家派遣」、「エ 景観づくり支援」
下京区 永松学区		下木屋町まちづくり協議会の運営支援（平成 25 年度～） ・下木屋町地区は、平成 28 年 3 月の地区計画条例化に合わせ、地区計画を補完し、自主的に安心・安全なまちづくりを目指すための自主ルールを策定した。 ・各町内における自主ルールの運用状況を共有し、より効果的な自主ルールの運用体制づくりを進めるとともに、協議会の今後の取組について助言を行うため、専門家派遣を行った。 「ウ まちづくり専門家派遣」
右京区 仁和寺門前		仁和寺門前まちづくり協議会の支援（平成 27 年 12 月～） ・平成 27 年度から、地域景観づくり協議会の設立に向けて、活動計画の策定及び合意形成を支援し、平成 28 年度 4 月に組織認定、7 月に景観づくり計画書の認定を受けた。 ・今後、新たな建築計画の協議等について支援を行った。 ・地域景観づくり計画書の印刷費に助成を行った。 「イ まちづくり活動助成」、「ウ まちづくり専門家派遣」
京都市 地域景観 まちづくり ネットワーク ※		定例会に、京都市の景観政策課とともにオブザーバーとして参加し、地域景観づくり協議会認定地区等の課題共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。12 月にはシンポジウムを共催で実施した。 ※【構成団体】 （中京区）先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会、（東山区）西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会、（下京区）修徳景観づくり協議会、（西京区）桂坂景観づくり協議会、（右京区）仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会（計 9 地区） 「エ 景観づくり支援」

【新規】は、平成 28 年度から新たに支援を行った地域

【地域景観まちづくりネットワーク主催シンポジウム概要】

開催日	講座名	登壇者	出席者
H28. 12. 11	京都市地域景観まちづくりネットワークシンポジウム	地域景観づくり協議会認定地域 コーディネーター：高村学人（立命館大学） 杉崎和久氏（法政大学）	163

(ウ) 景観づくり講座の開催、参加者のネットワーク形成等

景観まちづくりを進める地域の担い手育成の講座企画・運営、及び講座参加者を中心とした、事後のネットワーク形成に関する方向性を示した。

【平成 28 年度景観づくり講座概要】

開催日	講座名	講師	出席者
H28. 11. 11	第 1 回：「景観づくりのススメ」 ・ 講座の概論説明 ・ 景観づくりの取組事例の紹介とまちあるきエリア紹介	(京都市景観政策課) 谷口親平氏 (姉小路界限まちづくり協議会) 杉崎和久氏 (法政大学)	12
H28. 11. 19	第 2 回：「行ってみよう！景観づくりの実践地」 ・ 姉小路界限（第 1 回の事例紹介のエリア）を実際に歩く ・ 歩きながら撮った写真を地図に落とす	(当財団) (京都景観フォーラム)	10
H28. 11. 22	第 3 回：「学ぼう！京都市の景観政策」 ・ 第 2 回のまちあるきの振り返り ・ 京都市の景観政策	(京都市景観政策課) (当財団) (京都景観フォーラム)	9
H28. 12. 6	第 4 回：「調べよう！自分たちのまちの景観」 ・ 自分たちのまちの景観政策について調べる ・ 自分たちのまちについて共有する ・ エリアごとの景観政策	(京都市景観政策課)	7
H29. 1. 10	第 5 回：「考えよう！自分たちのまちのこれから」 ・ 第 4 回の景観政策の振り返り ・ 自分たちのまちの景観を良くするための行動計画を考える	(当財団) (京都景観フォーラム)	8
H29. 1. 31	第 6 回：「景観づくりの第一歩！」 ・ 支援制度の紹介・事例紹介・質疑応答	(当財団) (京都景観フォーラム) 小西宏之氏 (修徳景観づくり協議会)	9
合 計			55

オ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

京都市では「歴史都市京都における密集市街地対策等の取組方針」に基づき、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」（以下「優先地区」）において、地域と行政が一体となった防災まちづくりが進められている。

平成 28 度は、優先地区における、路地・町単位の地域防災まちづくり整備計画の策定へ向けた支援や、優先地区以外の密集市街地（学区単位）における防災まちづくり計画の策定等に向けた、防災まちづくり活動支援のため、専門家派遣を行った。

【防災まちづくり活動の支援を行っている地域の状況】

地区	状況	支援内容
北区 柏野学区*	計画 策定に向 け 取組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、防災ワークショップ等の取組支援を行った。また、紫野西土居町（御前通）において、専門家を派遣し、「防災まちづくり整備計画」案を策定し、防災上重要な幅員4m未満の道を拡幅整備する、防災まちづくりモデル事業を実施した。 (防災まちづくりの取組2年目) 「オ 防災まちづくり専門家派遣」
上京区 成逸学区		専門家を派遣し、まちづくりニュースの発行、アンケート調査、まち歩き等の取組を支援し、「防災まちづくり計画」を策定した。 (防災まちづくりの取組2年目) 「オ 防災まちづくり専門家派遣」
上京区 正親学区*		「防災まちづくり計画」の策定に向け、防災ワークショップ等の取組支援や、東西俵屋町における整備計画実施に向けた取組支援を行った。(防災まちづくりの取組2年目) その他、昨年度の上京区地域まちづくりWS後の取組支援も引き続き行った。
上京区 聚楽学区* 【新規】		「防災まちづくり計画」策定に向け、防災ワークショップ、まち歩き等の取組支援を行った。(防災まちづくりの取組1年目)
下京区 有隣学区 【新規】		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣し、講演会の開催等による地域住民への啓発や、防災マップ作成に向けた、まちあるき等の取組支援を行った。(防災まちづくりの取組1年目) 「オ 防災まちづくり専門家派遣」
下京区 中堂寺前 田町 【新規】		密集市街地内にある、細街路の多く残る区域で、細街路の防災性及び住環境の向上のため、防災まちづくり専門家を派遣し、「防災まちづくり整備計画」案を作成した。(防災まちづくりの取組1年目) 「オ 防災まちづくり専門家派遣」
上京区 仁和学区*	計画 策定済	仁和学区内の三助町の路地において、専門家を派遣し、仁和学区策定の「防災まちづくり計画」の実現に向け、細街路の防災性の向上や、建物の維持更新がしやすい環境づくりに関する取組を進めるため、「防災まちづくり整備計画」案の検討作成を行った。 (防災まちづくりの取組5年目) 「オ 防災まちづくり専門家派遣」
東山区 六原学区*		路地名入りマップづくりを通じた、路地のある暮らしや文化に対する意識啓発や、整備事業化へ向けた具体案件の掘り起こしや勉強会等の支援を行った。(防災まちづくりの取組5年目)

【新規】は、平成28年度から新たに支援を行った地域

※付の地区は、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」を示す。

(2) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

(7) 一般相談 484 件（平成 27 年度実績 420 件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

(イ) 専門相談 32 件（平成 27 年度実績 44 件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。

【相談項目内訳】

相談項目	一般相談件数	専門相談件数	合計件数
改修・修繕	183	19	202
活用	131	9	140
賃貸	49	3	52
売買	32	0	32
耐震、防火	36	2	38
相隣問題	13	0	13
相続、所有権関係	37	2	39
維持・管理	27	3	30
資金、公的な支援制度	100	6	106
京町家まちづくりファンド	91	0	91
京町家カルテ	67	0	67
京町家等継承ネット	67	6	73
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	32	1	33
合計件数	865	51	916

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

（参考）京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

一般相談	26 件
専門相談	57 件
京町家・空き家相談会	38
京町家・空き家相談会後の往訪相談	8
大型町家継承モデルプロジェクト往訪相談	11

(ウ) 京町家専門相談員

京町家の保全・再生に向けて、支援専門家の育成が不可欠となっている。当財団では、学識・有識者のほか、京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府建築士事務所協会、京都府宅地建物取引業協会、認定特定非営利活動法人古材文化の会から推薦を受け、京町家専門相談員を登録している。

京町家専門相談員登録者数 68 名（平成 29 年 4 月 1 日現在）

イ 京町家専門講座

建築、不動産業等に携わる専門家を対象に、京町家に関する概論、技術、流通、制度等を学ぶための専門講座を実施する。なお、本講座は、京町家専門相談員研修会を兼ねて実施している。

平成 28 年度は、平成 27 年度に実施した京町家従事者調査の結果を踏まえ、有益かつ関心の高いテーマ設定を行い、より多くの専門家の参加が得られることに努め、京町家の専門家の育成を図った。

なお、受講料について、自主財源増加の取組として、一般の専門家は有料化し、当財団の専門相談員については、相談員の拡充、育成を図るため従来どおり無料で実施した。

開催日	講座名	講師	出席者
H28. 6. 3	知っておきたい！京町家を取り巻く支援制度	京都市関係部署、当財団	61
H28. 7. 22	緊急報告会 熊本地震とこれからの備え	林康裕氏（京都大学大学院工学研究科教授）	83
H28. 10. 2	ワールド・モニュメント財団支援事業 「四条町大船鉾会所 改修現場見学会」	林邦彦氏（（公財）四条町大船鉾保存会理事長） 末川協氏（建築士（設計担当）、京町家作事組副代表理事）	31
合 計			175

ウ 京町家データベース

平成 20、21 年度京町家まちづくり調査によって調査した約 48,000 件の京町家等を元に I D 管理された物件を G I S（地理情報システム）上で地理的に管理する。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に一元的に管理する京町家データベースを運営する。

また、平成 28 年度に都市計画局まち再生・創造推進室により実施された、京町家の追跡調査の結果の追加や、オープンソース化に向けた情報整理等を実施した。

エ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成 26 年 11 月 21 日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都大学大学院教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組む。

平成 28 年度は京町家条例の制定を見据え、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談の掘り起こしを行うとともに、継承・活用のニーズの把握等を行った。特に大型町家の継承に対する具体的な支援策の充実が急務であり、継承ネットとしての支援システムの確立を目指した。また、会員との連携を強化し、支援専門家のスキルアップや位置づけを明確にしていく活動を行った。

- ・ 国土交通省補助事業「多世代交流型住宅ストック活用推進事業」に申請し、4,911 千円の助成が採択された。京町家等継承ネットにおける普及・啓発活動、相談会の開催、

会員研修、支援システムの検討等が補助対象となった。平成 28 年度は京町家まちづくり調査の追跡調査の実施と協調し、11・1・3 月に京都市内各所、2 月には東京にて京町家・空き家相談会や普及・啓発イベントを開催した。

(7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
H28. 6. 23	京町家等継承ネット第 3 回全体会議 ・前年度決算、事業計画等の承認 ・国交省補助事業・委託事業実施の承認	42
H28. 9. 13	京町家等継承ネット 会員による意見交換会を開催 ・今年度事業について	24

(イ) 普及・啓発の取組

a 見学会等イベント

(a) トークイベント

京町家に新たに移り住み、仕事や活動の場としても活用している方々が、自身の京町家での生活や事業、京町家の魅力を紹介した。

開催日	会場	登壇者	参加者
H29. 1. 14	しまだいギャラリー（中京区御池通東洞院西北角）	綾利洋氏（オーラボ株式会社代表取締役） 森紗恵子氏（つづれ織工房 おりこと） 司会 タナカユウヤ氏（株式会社ツナグム取締役／京都移住計画）	50

(b) ポップアップストア（KYOTO MISE）

京町家まちづくりファンド助成案件である竹内邸を会場に、関西で活動している独立系書店やクリエイターによる 2 日限りのブックフェア、セレクトショップを展開し、京町家の活用を検討している事業者等へ情報発信した。

開催日	会場	内容	参加者
H29. 1. 14 H29. 1. 15	竹内邸（中京区夷川通御幸町東入松本町 576-1）	ブックフェア YUY BOOKS & MAGAZINES (http://yuy.jp/)	70
H29. 1. 14 H29. 1. 15	蔵のギャラリー御所南 TOMORROW（竹内邸） （中京区御幸町通夷川下る達磨町 616）	ポップアップお土産ショップ 『マガザンキョウトポップアップ』 (http://www.magasinm.xyz/)	60

(主催)UU: Narrative Design, YUY BOOKS & MAGAZINES, MAGASINN KYOTO、京町家等継承ネット、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

(c) 「京町家の心豊かな暮らし 講演会」【京あるき in 東京 2017 メインイベント】

講演会では京町家の魅力を、代々商家を住み継いでこられた秦氏、他都市から京町家に移住し、創造的な国際交流の場としても京町家で活動を展開している島井氏、それぞれの住み手の視点から、京町家での暮らしを紹介した。

開催日	会場	登壇者	参加者
H29. 2. 26	移住・交流情報ガーデン (東京都中央区京橋1丁目 1-6 越前屋ビル1階)	秦めぐみ氏(京都秦家主宰)、 島井 佐枝氏(KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭サテ ライトイベントKG+実行委員) (司会)吉田 光一氏(京町家居住支援者会議 事 務局長、株式会社フラットエージェンシー 代表取 締役会長)	52

b 京町家・空き家相談会相談員研修会

(a) 京町家・空き家相談会相談員研修会(らくたび京町家)

対 象 平成28年度京町家等継承ネット京町家・空き家相談会相談員
平成28年度京町家専門相談員、京町家関連事業者

内 容 京町家の保全・再生・活用に関わる、改修、活用、相続、税金等の基礎
知識及び、相談員としての所有者・居住者への対応について、長年に渡
り相談員や支援専門家、実務者として携わる講師による講演を行った。

開催日	会場	講師	参加者
H28. 12. 11	らくたび京町 家(京都市中京 区泉正寺町 333)	関岡孝繕氏(京都市都市計画局まち再生・創造推進室 京町 家保全・活用課長) 田谷隆行氏(株式会社京町家の宿 代表取締役) 内藤卓氏(京都司法書士会副会長、はるかぜ総合司法書士事 務所代表) 堀栄二氏(京都府建築工業協同組合総代、堀工務店代表) 木下龍一氏(一般社団法人京町家作事組代表理事、一級建築 士事務所 アトリエRYO主宰)	25
H28. 12. 18	らくたび京町家 (京都市中京区 泉正寺町333)	内田康博氏(一般社団法人京都府建築士事務所協会副会長、 一級建築士事務所 内田康博建築研究所主宰) 辻本尚子氏(税理士・不動産鑑定士) 古賀芳智氏(認定特定非営利活動法人古材文化の会理事、一 級建築士事務所 株式会社KOGA建築設計室代表取締役) 吉田光一氏(京町家居住支援者会議事務局長、株式会社フラ ットエージェンシー取締役会長) 西村孝平氏(都市居住推進研究会会長代行、株式会社八清代 表取締役)	16

(b) 「京都市指定有形文化財 長江家住宅の継承」立命館大学研究発表会

長江家住宅の継承の経緯、祇園祭との関係からみる評価、データベースについてなど、
現時点での成果と課題を発表した。

開催日	会場	登壇者	参加者
H29. 2. 23	京都市景観・まちづくりセ ンター ワークショップラ ーム1	高木良枝氏(長江家住宅顧問/立命館大学客員研 究員) 佐藤弘隆氏(立命館大学大学院文学研究科博士課 程後期課程)	34

c 集中相談会

京町家・空き家の所有者や居住者を対象とした集中相談会を開催した。集中相談会の周知
については、京都市と協力し、京町家まちづくり調査(平成20、21年度)のデータを元に
特定行政区においてポスティングによる配布を行った。所有者・居住者に直接、相談会や支
援制度のご案内をすることができた。

(a) 京町家・空き家相談会の開催

開催日	会場	参加者
H28. 11. 19	京都市景観・まちづくりセンター	専門相談 10 件、一般相談 7 件
H29. 1. 14-15	しまだいギャラリー（中京区御池通東洞院西北角）	14 日（土） 専門相談 8 件、一般相談 7 件 15 日（日） 専門相談 8 件（雪による不参加 2 件）、 一般相談 7 件（雪による不参加 1 件）
H29. 2. 26	京町家所有者・活用希望者向け相談会 （京あるき in 東京 2017 と連携） 移住・交流情報ガーデン（東京都中央区京橋 1 丁目 1-6 越前屋ビル 1 階）	専門相談 7 件（2 組当日キャンセル）
H29. 3. 4	京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地）	専門相談 5 件、一般相談 5 件

※相談会 継承ネット一般相談 26 件、継承ネット専門相談 38 件（再掲）

※相談会後のフォローアップのために実施した、継承ネット専門相談 8 件（再掲）

(b) 相談内容等

- ・ 修繕・改修、活用の相談が大多数を占めた。
- ・ 相続登記が行われていないまま放置されており、現状では活用ができない案件が多かった。
- ・ 活用、相続、資金、事業継承等、複合的な悩みを抱える相談も少なくない。
- ・ 景観重要建造物等への指定提案や大型町家の継承に関するプロジェクト化が想定される案件も含まれる。
- ・ 相談会後も引き続き、専門相談等でフォローアップを行っている。

(c) 参加専門相談員

推薦団体名	参加相談員数				
	11/19	1/14	1/15	2/2 (東京)	3/4
集中相談会					
京都府建築工業協同組合	2		1		1
一般社団法人 京都府建築士会	2	1	1	1	2
一般社団法人 京都府建築士事務所協会	1	1	1		
公益社団法人 日本建築家協会近畿支部京都地域会		1	1		
一般社団法人 京都建築設計監理協会	1	1	1		1
公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会	1		2	2(※と重複)	1
公益社団法人 全日本不動産協会 京都府本部		1	1		1
一般社団法人 京都府不動産コンサルティング協会	1	1	1	1	1
京町家居住支援者会議	1	1	2	1※	2
都市居住推進研究会	1	1	1	1※	1
京都弁護士会		1	1		
京都司法書士会	1	1	1		1
公益社団法人 京都府不動産鑑定士協会	1				1
京都土地家屋調査士会	1	1	1		1
京都銀行	1	1	1		1
京都信用金庫	1	1	1		1
京都中央信用金庫	1	1	1		1
税理士（※有志による参加）		1	1		1
合計	16	15	19	4	18

(ウ) 支援システムの開発に係る取組

大型町家の相談案件については、随時整理と情報共有を行い、モデルプロジェクトの進め方を検討した。また、京町家のマッチングシステムのあり方やその内容について、会員団体とともに検討を行っている。

a 大型町家継承モデルプロジェクト往訪相談 11件

京町家等継承ネットで受けた相談案件の大型町家について、継承・活用提案のため往訪相談を行った。

相談員 宅建事業者3名、建築士1名、継承ネット事務局3名

b 大型町家継承に向けた支援システムの開発

- ・継承・活用マッチングシステムの検討、WEB等による情報発信ツールの作成を行っている。多様な活用事例を提示し、活用希望者を募る予定である。
- ・継承・活用の手法や事例について情報を収集した。

3 各種団体等との交流及び協働活動

ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成28年度は、第3期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。加えて、京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた釜座町町家と旧村西邸の活用に引き続き協力を行うとともに、本事業について、ホームページ等で国内外へ広く情報発信した。

(参考)

- 京町家再生プロジェクト 第1期 釜座町町家（平成23年度）
第2期 旧村西家住宅（平成24年度）
第3期 四条町大船鉾会所（平成28～29年度）

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

- H28.3～H29.3 月1回程度 検討会を実施
H28.8.23 修復工事着工
H28.10.2 京町家専門講座（現地見学会）
H28.12.4 荒壁ワークショップ
H29.2.19 ベンガラワークショップ
H29.4.15 改修竣工記念式典
H29.7 祇園祭に合わせて修復完成披露会を予定

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

平成 28 年 9 月 1 日 改修助成事業申請案件視察会開催

平成 28 年 9 月 2 日 第 35 回京町家まちづくりファンド委員会開催

平成 29 年 3 月 14 日 第 36 回京町家まちづくりファンド委員会開催

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

(ア) ファンドサロン

日 時 9/11 第 1 回ファンド感謝祭企画検討会(過去に助成を受けた方々との意見交換)

9/17 第 2 回ファンド感謝祭企画検討会(同上)

会 場 河崎邸/陶・点晴かわさき

(イ) ファンド感謝祭(事業報告会、寄附者表彰式、他)

日 時 平成 29 年 1 月 29 日 ファンド感謝祭

会 場 しんらん交流館 2 階 大谷ホール

登壇者 大場 修 氏、濱崎 加奈子 氏、門川 大作氏、他多数

内 容 業報告、基調講演、ゲストスピーチ、寄附者表彰式、アトラクション

参加者 110 名

協 賛 サッポロホールディングス(株)

(ウ) 京都創生連続講座 in 東京(京あるき in 東京 2017 メインイベント)

日 時 平成 29 年 2 月 24 日 京都創生連続講座 in 東京「祇園祭と京町家」

会 場 大和ハウス株式会社 東京本社 大ホール

テーマ 祇園祭と京町家

登壇者 吉田孝次郎氏、増井正哉氏

内 容 ファンド事業紹介、基調講演、対談

参加者 278 名

協 賛 彌榮自動車(株)

(エ) 京町家見学会(京町家まちづくりファンド改修助成案件の見学会)

日 時 平成 28 年 6 月 22 日 村瀬邸完成披露見学会

参加者 42 名

(オ) M I P I M(不動産プロフェッショナル国際マーケット) 出展

日 時 平成 28 年 9 月 8 日~9 月 9 日 不動産プロフェッショナル国際マーケット

会 場 グランフロント大阪 ナレッジプラザ

内 容 京町家の写真展示や京町家まちづくりファンドのパンフレットを配布

(カ) まいまい京都ツアー（寄附付きイベント）の共催

日 時 平成 29 年 2 月 10 日 「【清水焼】老舗陶器屋主人と巡る五条坂、登り窯を探検しよう」
会 場 五条坂周辺の登り窯跡、陶点晴かわさき、他
参加料 1,500 円／人（うち寄附金 200 円）
参加者 6 名

(キ) 企業向け京町家講習会「京町家の見所」開催

日 時 平成 29 年 1 月 14 日
第一部（ホテルコンシェルジュ・国内旅行企画担当向け）
第二部（ヤサカタクシー乗務員向け）
会 場 井山邸「百芳軒」（平成 28 年度選定、中京区）
講 師 大場 修 氏（京都府立大学大学院 教授）
内 容 ファンドの事業紹介、京町家に関する基礎知識、京町家の魅力・見どころの講習
参加者 第一部 9 名、第二部 26 名

(ク) 寄附付き商品の拡充

a 新規契約協力先

- (a) 京町家スイート利休（4/1 覚書締結）
- (b) 有限会社鈴木モータース（4/1 覚書締結）
- (c) 株式会社フージャースコーポレーション（4/1 覚書締結）
- (d) 岩井木材株式会社（10/1 覚書締結）
- (e) 蕘いらかぎじゅくとくますかわらてん技塾徳舂瓦店（1/1 覚書締結）
- (f) 彌榮自動車株式会社（3/25 サービス開始）

b 募金箱設置に係る協力

- (a) 京町家スイート利休（4/1 覚書締結、設置届受理）
- (b) 株式会社都ハウジング（5/18 覚書締結、設置届受理）

(2) 京町家カルテの作成

京町家の所有者が、所有する京町家の価値を理解し、京町家を次世代に適切に継承していく手がかりとするために、京町家の価値を「基礎情報」「文化情報」「建物情報」「間取図」の構成でまとめた「京町家カルテ」を作成する。

平成 28 年度は、当初発行件数は増加していたものの、発行件数は前年度と比較して落ち着きを見せた。理由としては、ローンなどの目的で早急に資料が必要な所有者からの申請が、「京町家プロフィール」制度の創設に伴い減少したためと考えられる。

- ・京町家カルテ発行件数 55 件（平成 27 年度実績 70 件）

(3) 京町家プロフィール制度の創設

「京町家カルテ」には、約 2 箇月の作成期間が必要であることや、取り急ぎローンのために必要という所有者にも、3 万 5 千円の費用負担が必要であること等の課題があった。これらの課題に対応し、発行件数を増加することにより、一層の京町家の保全・活用を推進するため、より簡便で利用しやすい、「京町家プロフィール」制度を新たに創設し、平成 28 年 12 月 1 日から受付を開始した。

- ・京町家プロフィール発行件数 22 件

京町家カルテと京町家プロフィールの相違点

	京町家プロフィール	京町家カルテ
(1) 主な目的	京町家ローンの利用に繋げ、京町家の流通促進を図る。	京町家についての価値を所有者に認識していただき、保全・活用を図る。
(2) 主な構成内容	外観調査に基づく京町家の建物・意匠情報	左記の他に、由緒沿革などの文化情報、建物の劣化状況などの建物情報、間取図
(3) 調査範囲	外観調査のみ (まちセンスタッフによる調査)	外観調査及び内部調査 (専門相談員(大工及び建築士)による調査)
(4) 申請手数料・作成料 ^{※1}	1万5千円	3万5千円
(5) 作成期間	申請から約1箇月 (最短2週間)	申請から約2箇月(大型案件の場合は、約3箇月)
(6) 京町家カルテ委員会 ^{※2} での審議	※3	2回 ^{※4}

※1 カルテ及びプロフィールの発行要件に不適合となった場合、費用負担は、申請手数料(5千円)のみ徴収する。

※2 カルテの内容や、カルテ及びプロフィールの発行要件に適合するかどうかについて審議を行う。

※3 発行要件に適合するかどうか疑義があるものについては、個別審議を行う。

※4 1回目にカルテ要件の適合性、2回目にカルテの内容について審議を行う。

(4) 建物調査報告書作成業務(京都市受託事業)

保全・再生を目指す大型京町家等の所有者に対して、建物調査報告書作成の支援を行い、京都市の歴史的建造物関係各課と連携して、今後の保全や公的指定等に向けた取組を行った。

今年度は、京都市の受託事業として、京町家等7件について、建物調査報告書を作成した。



北区



左京区



上京区



上京区



上京区



上京区



中京区

5 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大 学	学 部 等	人数	受 入 期 間
京都府立大学	生命環境学部	1	H28. 8. 22-H28. 9. 2
立命館大学	大学院政策科学研究科	1	H28. 11. 11-H28. 12. 16

(2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。

平成 28 年度は、自主財源増加の取組として、有料化（賛助会員加入）し実施した。

受入日	団体名	人数	内 容
H28. 4. 23	香港大学專業進修学院文化遺産研究	24	京町家の保全・再生の取組について
H28. 4. 28	福井県総合政策部政策推進課	2	京町家まちづくりファンド、京町家まちづくりクラウドファンドについて
H28. 5. 20	筑波大学附属駒場高等学校	6	古都の町並み保全に係る京都の取組とまちセンの設立、活動、効果について
H28. 6. 2	韓国長水郡職員	6	京都市景観・まちづくりセンターの概要について
H28. 6. 3	立命館大学大学院(インドネシア政府行政官)	6	京町家の保全・再生の取組について
H28. 6. 4	カリフォルニア大学アーバイン校	2	京町家の保全・再生の取組について
H28. 6. 5	自民党富山大沢野支部	32	京町家の保全・再生の取組について
H28. 6. 14	埼玉県開智未来中学校	3	まちの景観を守るために活動、まちの中での連携・自治組織について
H28. 6. 16	IATSS (国際交通安全学会)	18	第 55 回 IATSS フォーラム 京都の伝統的な景観を守る取組等について
H28. 6. 17	関西・自治体シンクタンク情報交流会	25	京都市景観・まちづくりセンターの取組について
H28. 6. 28	Korea National Univ. of Cultural Heritage	3	京町家改修現場視察
H28. 7. 1	韓国クンジュ郡農家女性会	30	財団の取組、イベントセミナーの実績について
H28. 7. 2	東京自治体職員研修	24	京都の景観政策とまちセンの取組について
H28. 7. 7	カリフォルニア大学アーバイン校	2	京町家の保全・再生の取組について
H28. 7. 8	韓国視察団クンジュ郡里長会	30	財団の取組、イベントセミナーの実績について
H28. 7. 30	国土交通省国土技術政策総合研究所	1	伝統工法の建物を活用したまちづくりについて
H28. 8. 10	奈良まちづくりセンター	1	京町家の保存活用政策について
H28. 8. 17	金沢大学人間社会学域経済学類 藤澤ゼミ	9	町家の把握や実態等について

H28. 8. 21	DCLG Department for Communities and Local Government	1	地域の自立的な活動支援等について
H28. 8. 31	Heritage and Social Innovation Observatory, Oxford and UCL universities	1	京町家の保全・再生の取組について まちセンの組織体制について
H28. 8. 31	JICA - 国際協力機構	8	第三セクターとしての活動や役割等について
H28. 9. 2	東京都江戸川区	10	京都市景観・まちづくりセンターの 取組について
H28. 9. 4	岐阜県可児市立広陵中学校	1	京町家の保全・再生の取組について
H28. 9. 7	カリフォルニア大学アーバイン校	2	京町家の保全・再生の取組について
H28. 10. 3	立命館大学(ドイツ・エアフルト専門 大学)	35	京都の景観政策とまちセンの取組につい て
H28. 10. 7	IATSS (国際交通安全学会)	17	第56回 IATSS フォーラム 京都の伝統的な景観を守る取組等につい て
H28. 11. 20	中華人民共和国上海市閔行区政治協 商委員会主席	8	京町家の保全・再生の取組について
H28. 12. 16	立命館大学(タイ・タマサート大学)	50	京都市の都市計画、まちづくり等
H28. 12. 17	国土交通省住宅局	4	京町家再生の取組、再生事例等
H29. 2. 1	JICA 集団研修	14	京都市景観・まちづくりセンターの取 組について
H29. 3. 9	デルフト工科大学研究者(京都工芸 繊維大学招聘)	5	京都市景観・まちづくりセンターの取 組について
H29. 3. 27	カリフォルニア大学ロサンゼルス 校	20	京町家の保全・再生の取組について
H29. 3. 27	A P A R T S (パリの建築事務所)	3	京都市景観・まちづくりセンターの取 組について
合 計		403	

(3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	人数	内 容
H28. 6. 1	京都市立芸術大学	135	道から見える町家と街並み形成の関係 について
H28. 6. 16	京都市立松原中学校	108	京町家の暮らしと文化について
H28. 9. 28	京都パレスワイズメンズクラブ	50	京町家の保全・再生の取組について
H28. 9. 29	汎太平洋不動産鑑定士・カウンセラ ー会議(公益社団法人日本不動産鑑 定士協会連合会)	40	京町家の保全・再生の取組について
H29. 2. 2	聖母女学院	90	気候風土に応じた住居、伝統的な日本 の住居の工夫
H29. 2. 3	京あるき in 東京 2017 京都市企業誘 致セミナー	108	京町家：ものづくり文化拠点
合 計		531	

6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンドの助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進すると共に、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

【景観重要建造物 指定済】2件



上京区



南区

【歴史的風致形成建造物 指定済】1件



上京区

【歴史的風致形成建造物 相談継続】2件



下京区



上京区

【国登録有形文化財 登録済】2件



右京区



南区

【国登録有形文化財 相談継続】3件



北区



上京区



上京区

【「京都を彩る建物や庭園」選定済】7件



左京区



左京区



上京区



東山区



東山区



下京区



下京区【再掲】

【「京都を彩る建物や庭園」制度の推薦を行っている案件】2件



北区【再掲】



中京区

7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

平成 28 年度は、センター利用者数の増加に向けて以下の取組を進めるとともに、省エネルギー化、CO₂削減等を図るため、センター内（一部を除く。）の照明器具の LED 化を実施した。

なお、同センターの次期【平成 29 年度～32 年度】指定管理業務を受託した。

・センター利用者数 56,463 人（平成 27 度末実績 55,430 人）

(1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。

平成 28 年度は、ボランティアガイドを定時実施することを目的として、ボランティアを新規募集し、登録者を拡大した。

平成 28 年度展示案内ボランティア養成講座

開催日	講座名	講師（話し手）	出席者
H28. 10. 6	「京のまちかど」～導入及び古代から近世～	高橋康夫（花園大学教授・京大名誉教授）	14
H28. 10. 19	「京のまちかど」～近代から現代まで～	中川理（京都工芸繊維大学教授）	10
H28. 11. 24	まちづくり現地見学会～修徳のまちづくり～	小西宏之 （修徳まちづくり委員会事業総括常任委員）	11
H28. 12. 1	京町家について／現役ボランティアによる「京のまちかど」ガイド実演	当財団専務理事、現役ボランティア	11
H28. 12. 8	「京のまちかど」展示案内実習	現役ボランティア	10

また、積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

・京のまちかど利用者数 26,980 人（平成 27 度末実績 23,696 人）

＜利用者拡大に向けた取組＞

- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加
- ・京都市内博物館施設連絡協議会スタンプラリー「第 22 回京都ミュージアムロード」に参加

(2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

・所蔵資料数 平成 28 年度末時点 ※（）内は平成 27 年度末時点の点数。

内 訳	点 数
一般書籍	15,280 (15,938)
郷土資料	962 (972)
行政資料	1,394 (1,508)
視聴覚資料	309 (534)
雑誌	655 (692)
地図、絵本等	567 (762)
合計	19,167 (20,406)

・利用状況

内 訳	平成 28 年度末実績	平成 27 年度末実績
利用者数	21,145 人	20,402 人
利用者カード新規発行数	191 枚	154 枚
利用者カード延べ発行数	3,396 枚	3,205 枚
図書等貸出数	2,603 点	1,578 点

ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授，都市住宅学会初代会長，元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄 京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下，巽氏が所蔵されていた資料 2,105 冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様にご利用いただくため，ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置した。

イ 利用者拡大に向けた取組について

(ア) ギャラリートーク

利用者増加に向けた取組の一環として、図書スタッフによる企画展示「上杉本洛中洛外図屏風」を用いたギャラリートークを開催した。

内容：「上杉本洛中洛外図屏風」の見所、関連図書の紹介

開催日	テーマ	出席者
H28. 4. 22	上杉本洛中洛外図屏風に見る端午の節句	25
H28. 7. 9	上杉本洛中洛外図屏風に見る祇園祭と下京の町衆	19
H28. 10. 12	御霊社の剣鉾と上京の人々	13
H29. 1. 16	年末年始の門付芸や民間陰陽師の姿	20
H29. 2. 25	京都文化博物館「戦国時代展」開催記念トーク	23

(イ) スタンプラリー

絵本、児童書の貸出しでスタンプが 10 個たまると、まちセンマスコットキャラクター（まち右衛門と景都（kate））のシールを配付。

(3) まちづくり交流サロン

広く一般に開放し、打ち合わせ等ができるサロンを運営した。

(4) まちづくり工房

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行った。

<稼働回数> 53 回 （平成 27 年度末実績 42 回）

(5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸出しを行っている。

<稼動回数>

ワークショップルーム 1 : 191 回 (平成 27 年度末実績 172 回)

ワークショップルーム 2 : 219 回 (平成 27 年度末実績 155 回)

ワークショップルーム 3 : 展示施設「京町家情報コーナー」を運営

(6) 地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー

これまで京町家の構造などが分かる模型や京町家に関わる活動団体の情報を展示する「地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー」として利用していた「ワークショップルーム 3」を、景観・まちづくりに取組む団体に対し、貸し展示スペースとして提供することを決めた。平成 29 年 2 月から、同スペースにて「ミニチュアハウスと紙彩画による着物づくりと京町家」展を常設展示している。

公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

1 京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

平成 28 年度交付実績：平成 27 年度選定の繰越分 1 件（村瀬邸）
平成 28 年度選定 1 件（竹内邸）

合計 2 件

【助成金交付案件】

平成 27 年度選定 村瀬邸（左京区）

※「京都を彩る建物や庭園」に選定済み



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の補修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修

活用の概要

- ・住居

工事完了：
平成 28 年 5 月 31 日

平成 28 年度選定 竹内邸（中京区）



改修前



改修後

助成対象工事

- ・ 外壁の補修
- ・ 外部建具、出格子の補修
- ・ 駒寄の補修

活用の概要

- ・ 一棟貸し簡易宿泊所

工事完了：
平成 29 年 2 月 2 日

2 京町家再生プロジェクト（再掲）

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、世界の歴史的建造物など文化遺産の保護、啓蒙活動を行っているワールド・モニュメント財団（WMF）から支援を受け、地域と一体となって京町家の保全・再生を図るとともに、その取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとするための活動を行っている。

これまでに、特定非営利活動法人京町家再生研究会とともに、第1期プロジェクトである釜座町町家、第2期プロジェクトとして旧村西家住宅の修復を行った。

平成28年度は、第3期プロジェクトとして、四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。

(1) 四条町大船鉾会所の改修と活用

平成28年2月以降、調査、改修計画の検討を経て、平成29年4月まで改修工事（工事期間平成28年8月23日～平成29年4月12日）を行った。一般社団法人京町家作事組が施工した。

(2) 京町家の保全・再生に関する普及・啓発プログラム

改修に関する記録集、動画の作成など。

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

H28.3～H29.3 月1回程度 検討会を実施

H28.8.23 修復工事着工

H28.10.2 京町家専門講座（現地見学会）

H28.12.4 荒壁ワークショップ

H29.2.19 ベンガラワークショップ

H29.4.15 改修竣工記念式典

H29.7 祇園祭に合わせて修復完成披露会を予定

改修前



改修後



収益事業

京町家まちづくりクラウドファンディング活用支援事業

広く国内外からの投資を募り、民間からの資金を導入することにより、幅広い担い手による京町家の保全・再生・活用を行い、もって京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承、発展と、まちなみ景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とし、クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する。

(1) 活用事業者の選定及び支援

京町家を改修、活用して事業を実施しようとする活用事業者を選定し、クラウドファンディングの仕組みを利用し、京町家の改修費用を調達する際に、資金面での支援を行う。

平成 28 年 4 月 25 日（月）から支援の対象となる事業者の募集を開始し、1 件の申請があり、第 2 回京町家まちづくりクラウドファンディング委員会の答申を受け、以下の 1 件の事業を選定した。

(選定案件)

- (1) 申請者 株式会社 中藏
- (2) 対象となる京町家の所在地 中京区西ノ京南聖町 5 番地 1
- (3) 事業概要

10 数年前まで電気部品を製造する工場として稼動しており、現在は空き家となっている京町家の一部を一棟貸しの町家旅館に改修する。また、その他の部分については、以前からものづくりの場であったことを引き継ぐ形でテナント（清課堂が入居予定）ととし、旅館の宿泊者に対して、オープンファクトリーとして公開することにより、京都のモノ・コト・ヒトと交流する場を創出する。

- (4) クラウドファンディング計画期間（償還期間）

3 年

- (5) 資金調達目標額

630 万円



選定案件

<参考> 株式会社 中藏について

- ・ 明治 43 年に左官業として創業
- ・ 町家の利活用について企画，設計，施工及び関連会社による運営まで一貫して請け負うことができ、町家の改修実績が豊富で、これまでに京町家の一棟貸し旅館を 3 軒オープンしている。

株式会社中藏については、10 月末からクラウドファンディングによる資金調達を開始したところ、2 週間で目標額に達したため、当財団からの追加投資はなく、初期費用負担金 100 万円（負担額：京都市 50 万円、民都機構 50 万円）のみ支出した。

また、平成 28 年 9 月から第 2 回の支援事業者の募集を開始し、金融機関と連携した説明会の開催、京町家関連事業者等への個別の働きかけなど、応募に向けた取組を進めたものの、申込みがなかったため、29 年度に事業の手続きの見直しを行ったうえで、新たに募集を開始する予定。

(2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会運営

公正かつ効果的なファンドの管理及び運営を行うため設置した京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を運営する。指定事業者及び活用事業者の選定について審議を行う。

平成 28 年 7 月 15 日 改修助成事業申請案件視察会開催

平成 28 年 7 月 29 日 第 2 回京町家まちづくりクラウドファンディング委員会委員会開催

- ・日 時：平成 28 年 7 月 29 日（金）10:00～12:00
- ・場 所：ひと・まち交流館 京都 地下 1 階ワークショップルーム
- ・出席委員：大場修氏（委員長）、宗田好史氏（副委員長）、浅井國勝氏、栗山裕子氏、松田彰氏、水野歌夕氏、山田陽子氏
（欠席委員：ジェフ・バーグラント氏）
- ・審議結果：活用事業者候補として応募のあった事業者から、株式会社中藏を選定候補として答申。

法人運営

1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 16 回	H28. 6. 10	平成 27 年度事業報告及び決算について 第 5 次中期経営計画について 第 9 回評議員会の開催について
第 17 回 (書面理事会)	H28. 6. 28	専務理事の選任について
第 18 回	H28. 11. 4	平成 28 年度補正予算について 第 10 回評議員会の開催について
第 19 回	H29. 3. 28	平成 28 年度補正予算について 平成 29 年度事業計画及び収支予算について 第 11 回評議員会の開催について

【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 9 回	H28. 6. 28	平成 27 年度事業報告及び決算について 第 5 次中期経営計画について
第 10 回	H29. 3. 29	平成 29 年度事業計画及び収支予算について

2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行うほか、団体会員の増加のため企業訪問等を行った。

また、平成 28 年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり、会員のメリットが高まったことから、これを積極的に P R し、新たな新規会員の拡大に努めた。

<入会状況> 平成 28 年度末 ※（）内は平成 27 年度末の実績。

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	235 人 (201 人)	1, 435, 000 円 (1, 545, 000 円)
団体会員	22 団体 (20 団体)	1, 110, 000 円 (1, 100, 000 円)
		2, 545, 000 円 (2, 645, 000 円)

【参考】（年間会費）個人（1 口） 5, 000 円

団体（1 口） 50, 000 円

3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、業務研修、新規採用職員研修等の研修を行った。

開催日	研修名	講師
H28. 4. 1-4. 8	新任職員研修	当財団職員
H28. 5. 18	京町家に関する実務研修	当財団専務理事、京都市職員
H28. 5. 24	情報発信力向上研修	内山純一氏（株式会社ステーション代表取締役）
H28. 7. 7	ファンドレイジング研修	山元圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）
H28. 7. 13	防災に関する実務研修	当財団専務理事

4 その他

環境改善の取組として、K E S（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量1%削減 （平成26年度基準）
省資源化	事務用紙使用量削減
啓発活動	建物周辺の清掃 （毎月1回3人以上の参加）
省エネルギー化	京町家カルテ作成 55件 京町家プロフィール作成 22件